

令和4年度 学校経営計画書

学校番号	54	学校名	県立榛原高等学校（全日制）	校長名	鈴木 安雄
------	----	-----	---------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 校訓・生活信条

校訓「至誠真剣」 生活信条「時を守り、礼を正し、場を浄める」、「進取の精神」

(2) 教育目標（スクール・ミッション）

地域に愛され、地域と生きる普通科・理数科併置校として、進学希望を実現する教育活動と、グローバルな探究を通して、未来の社会の発展に貢献するリーダーとなる、能力と視野をもった人の育成を目指す。

(3) 目標具現化の柱

- ア 生徒の生活…規範を守り、自他を尊重する態度をもち、主体的に行動する生徒を育成する。
- イ 生徒の学び…確かな学力と高い探究心を持ったグローバル人材を育成する。
- ウ 生徒の進路…一人ひとりの進路希望実現のため、系統的かつ個に応じた進路指導・支援を行う。
- エ 安全・衛生…安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う。
- オ 教員の学び…教育政策の方向性を見据えた研修等により、教職員の資質向上を図る。
- カ 改善・広報…地域関係者、保護者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
ア	規範を守り、自他を尊重する態度をもち、主体的に行動する生徒を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ○行動規範・ルールを守ることを、全ての教育活動において徹底する。 ○「時を守る」ことを適切に指導する。 ○日常場面でのあいさつ指導を通し、「礼を正す」ことを涵養する。 ○自他を尊重する態度を育成する。 ○生徒の個性、多様性を尊重した指導をする。 ○学校行事・課外活動における生徒の主体的な取組を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内で端末機器を利用規約に沿って使用している生徒 95% ○期限を守っている生徒 90% ○校内外においてあいさつができていない生徒 95% ○教員は個性を尊重した指導をしていると思う生徒 90% ○課外活動に積極的に参加している生徒 80% 	生徒部 教務部 各学年
イ	確かな学力と高い探究心を持ったグローバル・リーダーを育成する	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態に即しつつ、授業内容が理解できるよう授業改善・工夫を行う。 ○自学課題は、共通のものと発展的なものを与え、生徒が主体的に取り組む支援をする。 ○生徒個人端末等の ICT を活用した教育活動を実践し、学力と情報活用能力を高める。 ○協働的な学習や探究活動を通して、思考力・表現力、協働力を高める。 ○朝読書等を通して読書を推奨する。 ○HAFプロジェクト等を通じて、グローバルな資質・能力を育成する。 ○地域との連携を通して、将来の地域リーダーとなる人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員は授業内容を理解できるよう指導していると思う生徒 90% ○自分が行うべき家庭学習ができている生徒 80% ○生徒個人端末を活用した教育活動を実践する教員 80% ○探究活動等を通して思考力・表現力・協働力を高めた生徒 80% ○新着図書情報等を毎月発信 ○英語4技能を高められた（英検取得等）生徒 前年度比アップ ○地域と連携した地域創造探究、グローバル事業を実践している 	教務部 探究部 各教科 各学年
ウ	一人ひとりの進路希望実現のため、系統的かつ個に応じた進路指導・支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○学びの基礎診断等を有効に活用しつつ、進学に向けての確かな学力をつける。 ○進路行事、補講、個別指導を適時適切に行い、生徒の進路希望達成を支援する。 ○進路シラバス、探究活動等と連動したキャリア教育により、生徒の進路志望の実現を支援する。 ○体系的な理数教育の充実により、難関国公立大学及び医療系学部への進学者を支援する。 ○PTAと連携した「保護者のための進路勉強会」を計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学びの基礎診断や模擬試験における結果 前年度比アップ ○進路指導に満足している生徒 85% ○国公立大学合格者 30%以上 ○探究活動等を活かして進学する生徒 10人以上 ○理数科からの難関国公立大学及び医歯薬学部進学者 20%以上 ○「進路勉強会」の満足度 平均90%以上 	進路部 各学年 探究部 理数科 総務部

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
エ	安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う	<ul style="list-style-type: none"> ○「場を浄める」ことを適切に指導する。 ○教職員・生徒が感染症予防を適切に行う。 ○個々の生徒に寄り添い、適時にケース会議等を実施し、外部機関と連携した相談体制を充実させる。 ○情報共有と初期対応によりいじめを根絶する。 ○毎月の安全点検を通して、学校施設設備の維持管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の清掃・整頓が行き届いていると思う生徒 80% ○教職員・生徒が感染症予防を徹底している。 ○教育相談に満足している生徒 80%、保護者 80% ○いじめ、体罰、重大交通事故 0件 ○安心して学校で生活できる施設・環境であると思う生徒 90% 	生徒部 各学年 総務部 事務部
オ	教育政策の方向性を見据えた研修等により、教職員の資質向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な教員研修により、ICT活用、学習評価（新学習指導要領対応）について知識・技能を高める。 ○教員相互の授業見学を行い、授業改善を推進する。 ○校外研修（静岡大学教育学部との連携、オンライン講座等を含む）により資質向上に努める。 ○ワーク・ライフ・バランスを実現するために業務の適正化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT活用（生徒個人端末活用）の知識・技能が高まった教員 85% ○学習評価についての理解が深まった教員 85% ○他教員の授業見学を年2回以上行った教員 80% ○校外研修等に参加した教職員 80% ○会議の終了時刻が計画どおりであった80% 	教務部 事務部 管理職
カ	地域関係者、保護者等とともに教育改善に取り組むとともに、適時に情報を共有・発信する	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会（コミュニティスクール）を年4回実施し、効果的な協議の場とする。 ○学校ホームページにより、適時な情報提供を行う。 ○保護者等を対象とした情報提供を適時適切に実施する。 ○中学生等を対象とした広報活動を適時適切に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。 ○保護者の学校満足度 90%以上 ○HP記事を月平均で15以上アップする ○定期的に閲覧する保護者 50% ○学校が必要な情報を発信していると思う保護者 90% ○学校広報掲示物を月1回発行 ○一日体験入学、オープンスクール等の満足度 90% 	総務部 各学年 管理職

3 生徒に身に付けさせたい力（参考）

- ①情報収集・分析力
- ②課題設定・解決力
- ③思考力（論理・批判・創造的）
- ④メタ認知力
- ⑤表現力
- ⑥協働力（自己理解・他者理解）
- ⑦社会参画力・意思決定力